

☑ 知っておかなきゃ！  
.....  
研究公正のキホン  
.....

テーマ

【出版社編】

“オーサーシップについて”

# 学術出版社が示す オーサーシップ

point

- ・ジャーナルの著者要件を確認しよう
- ・研究への具体的な貢献を明確に！

★オーサーシップを検討するために★

International Committee of Medical Journal Editors (ICMJE、医学雑誌編集者国際委員会)をはじめ、各学術誌や出版社が、研究分野の考え方に沿ったオーサーシップの定義や考え方を示しています。学際的な研究や関与する研究者の数が多い研究では、オーサーシップの要件をどのように適用すればよいのか、悩む場面もでてくるかもしれません。各学術出版社のガイドライン等のオーサーシップの定義や考え方を確認し、現在取り組んでいる研究プロジェクトで誰が共著者となるべきかについて考えてみてください。その際、研究における各著者の役割（貢献）をカテゴリーに分けて示したCRediTを使うと、各自の貢献内容が分かりやすくなります。

詳しくはウラ面へ→

# 学術出版社が示すオーサーシップ

## 【出版社編】“オーサーシップについて”

### ■ 国際的な大手出版社の著者要件（一部を除き2024年時点）

出版社	オーサーシップの基本的な考え方	備考
Elsevier	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 研究の構想、デザイン、実行、解釈に対して重要な貢献をした者に限る。研究に対して実質的な貢献をしたものは、著者として表記されるべきである。</li> <li>● 著者は研究全体に対して共同で責任を負う。各著者は、研究のどの部分においても正確性や完全性に関する問題が適切に調査され、解決されることに責任を負う。</li> <li>● ジャーナルによっては、オーサーシップの定義を独自に定めている場合がある（例：医学ジャーナルではICMJEのオーサーシップの定義に従う）。著者は、該当するジャーナルの方針に従うことを確認するべきである。</li> </ul> <p>【出典】 See Sec. of Authorship of the pape, Publishing ethics, Elsevier, <a href="https://www.elsevier.com/about/policies-and-standards/publishing-ethics#4-duties-of-authors">https://www.elsevier.com/about/policies-and-standards/publishing-ethics#4-duties-of-authors</a> (参照2024-9-1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 論文の特定の部分において実質的な側面を担当している場合（例：言語的チェックやメディカルライティング）は、謝辞のセクションに掲載すべきである。</li> <li>■ CRidIT等を利用し、各著者の貢献内容を明記することを推奨する。</li> </ul> <p>【出典】 Ethical publishing, Policies &amp; guidelines, Elsevier, <a href="https://www.elsevier.com/researcher/author/policies-and-guidelines">https://www.elsevier.com/researcher/author/policies-and-guidelines</a> (参照2024-9-1)</p>
Springer Nature	<ul style="list-style-type: none"> <li>● それぞれの研究分野で適用されるオーサーシップのガイドラインに従うことを推奨する。</li> <li>● 特定のガイドラインがない場合は、以下のガイドラインに従うことを推奨する。             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 構想とデザイン、データの取得または分析およびデータの解釈に対して、実質的な貢献。</li> <li>2. 草稿の作成または、重要な知的内容に対する批判的改訂。</li> <li>3. 出版されるバージョンへの最終承認。各著者は、内容にたいして適切な部分について公的責任を負える程度に十分に研究に参加しているべき。</li> <li>4. 論文の正確性や完全性に関する疑問が適切に調査され、解決されるよう、論文のすべての側面に対して責任を負うことに同意したこと。</li> </ol> </li> </ul> <p>【出典】 Authorship principles, <a href="https://link.springer.com/brands/springer/journal-policies#Authorship%20principles">https://link.springer.com/brands/springer/journal-policies#Authorship%20principles</a> (参照2026-1-14)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ すべての著者が投稿に先立ち、論文の内容に合意していること、投稿することに明示的に同意していること、また、所属機関等の所定の手続きを経ていることが求められる。</li> <li>■ 著者の貢献について著者の貢献を具体的に記述することを奨励している。</li> </ul> <p>投稿するジャーナルのガイドラインを確認し、貢献に関する具体的な記載方法を確認すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 責任著者の義務も、別途、具体的に記載されている。</li> </ul>
Taylor & Francis	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 以下の1～5のすべての要件を満たすこと             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 報告された論文において、構想、研究のデザイン、実行、データの取得、分析、解釈、またはこれらの全ての領域で重要な貢献をしたこと。</li> <li>2. 論文の起草、あるいは、執筆や大幅な改訂、原稿に対する批判的なレビューをした。</li> <li>3. 論文を投稿するジャーナルについて同意したこと。</li> <li>4. 投稿前、査読改訂中、出版に対する最終稿、校正段階で加えられた大きな変更において、全てのバージョンでレビューし承認したこと。</li> <li>5. 論文の内容に対して責任を負うことに同意すること。公開された論文の正確性や完全性に関する質</li> </ol> </li> </ul> <p>【出典】 Taylor &amp; Francis Editorial Policies, Taylor &amp; Francis Authors Services, <a href="https://authorservices.taylorandfrancis.com/editorial-policies/">https://authorservices.taylorandfrancis.com/editorial-policies/</a> (参照2026-1-8)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 責任著者については、共著者間の合意で決定し、責任著者は、論文のすべての側面に関して、共著者全員と合意に達する責任を負うことも示されている。</li> </ul>
Sage Publications	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 以下の1～4のすべての要件を満たすこと（ICMJE勧告に準じる）             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 構想、設計、データの取得、分析または解釈に対して重要な貢献を行った。</li> <li>2. 論文の草稿を作成、または重要な知的内容に対して批判的に改訂した。</li> <li>3. 出版される最終稿を承認した。</li> <li>4. 論文のあらゆる側面に対して責任を負い、正確性や完全性に関する問題の解決に同意すること。</li> </ol> </li> <li>● 著者資格については、投稿ガイドラインを確認して各ジャーナルの要件を参照すること。</li> </ul> <p>【出典】 Authorship guidelines, Sage Publications, <a href="https://us.sagepub.com/en-us/nam/authorship-guidelines">https://us.sagepub.com/en-us/nam/authorship-guidelines</a> (参照2024-9-1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Sage ジャーナルの一部は、CRidIT 分類を使用する。</li> </ul>

投稿前に、当該ジャーナル及び出版社の最新のガイドラインやポリシーを確認してください。例えばWiley社では、全分野に共通するオーサーシップの定義はなく、分野によって異なるとして、個別のジャーナルごとに著者要件を定めています。さらに、COPE (Committee on Publication Ethics)の方針を踏まえ、Best Practice Guidelines on Research Integrity and Publishing Ethicsで基本的な考え方を紹介しています。投稿にあたって参考にしてください。

▶ <https://authorservices.wiley.com/ethics-guidelines/index.html>

#### おさえておきたいポイント

各出版社で共通している点は、

- ・研究に対する実質的な貢献
- ・論文の最終稿に対する著者全員の承認
- ・共著者が研究全体に対して共同で責任を負うこと

です。おなじ出版社の発行する学術誌でも異なるオーサーシップ基準の場合もあるので、必ず投稿規程を確認してください。また、著者の貢献内容の透明性も重視されるようになってきました。ただし、CRidIT分類（→テーマ3）の使用が推奨される場合や、ジャーナルごとの要件がある場合など、著者の貢献内容を明確にする方法は学術誌によっても異なります。

責任著者の役割についても注意が必要です。研究分野によって、責任著者の考え方や役割、記載方法等が異なります。共同責任著者や共同筆頭著者などについても同様です。投稿先の学術誌の記載方法について、執筆要領や投稿規程等を確認して下さい。

#### プロジェクト紹介

科学技術イノベーション政策のための  
科学研究開発プログラム（第3期：令和3～6年度）

### 研究分野の多様性を踏まえた 研究公正規範の明確化と共有

近年問題となることの増えてきた二重投稿や不適切なオーサーシップ等について、問題への認識は分野を超えて共通しています。しかし具体的にどのような行為を二重投稿や不適切なオーサーシップとみなすかについては、研究分野によって考え方や対応が異なることがあります。本プロジェクトでは、研究分野の多様性を踏まえて、研究公正規範の明確化と共有を図る仕組みづくりを目指しています。

